

# 9月25日

# ハーン来熊120年記念 特別講演会

会場：熊本市立図書館ホール 2階  
(熊本市大江6丁目1-74 TEL 096-363-4522)

【講演】午後1時30分より

## 『ハーン作品に学ぶ防災の心』

吉村 郁也氏 (熊本県警察本部警備部長・警視正)

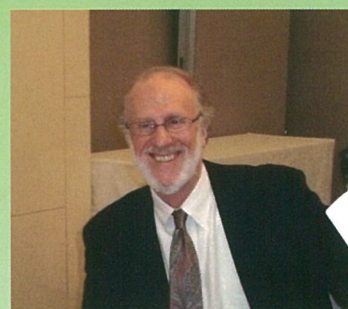
警察庁、外務省、内閣官房などに  
通算15年間出向。中東およびギリ  
シャ等の日本大使館に8年ほど駐在。  
主に、国際テロ対策、在外の邦人  
保護などの危機管理に従事した。  
2001年より熊本県警察にて活躍。



## 『ハーン作品「生神様」を中心に』

アラン・ローゼン氏 (元熊本大学教授)

1945年生まれ。著作に『小泉八雲  
作品抄』(共著、恒文社、1999年)、「ラ  
フカディオ・ハーンの科学論説Ⅰ・  
Ⅱ」(『ハーン曼茶羅』所収、北星堂、  
2008年)、『ラフカディオ・ハーン  
の英作文教育』(共著、弦書房、  
2011年)など。



【作品朗読】

「生神様」(A Living God 第3節)

**入場無料**

今回の東日本大震災の爪痕は大きく、あらゆるものの復興が現在の緊急課題になっています。大津波(海嘯)は多くの人の命や町村をのみ込み、地震や津波への備えの大切さを私たちに教えてくれました。ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)は作品「生神様」(A Living God)の中で、かつて和歌山県を襲った大津波の事を描き、後世に伝えています。これは今年度(平成23年)の小学校の教科書に掲載されています。

熊本八雲会は、このような中で防災の専門家による今般の震災についての話とハーン作品にみる防災文学について作品の朗読も交えて特別講演会を開催いたします。ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。



## 八雲の「怪談」朗読会

日時：9月25日(日) 午後7時~8時30分

会場：小泉八雲熊本旧居(鶴屋裏・熊本市安政町2-6)

八雲忌に因み、暗やみの中にろうそく二本と行灯一基の薄明かりだけで、八雲の「怪談」の中から「幽霊瀧の伝説」「魔女」などを組み合わせて朗読。

主催：小泉八雲熊本旧居保存会 協力：熊本朗読研究会

●入館料200円が必要です。

主催：熊本八雲会

後援：熊本市教育委員会・熊本日日新聞社・RKK熊本放送・NHK熊本放送局・熊本アイルランド協会・小泉八雲熊本旧居保存会・五高記念館友の会・熊本大学小泉八雲研究会・熊本近代文学館友の会・NPO法人くまもと文化振興会